



# 日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

96.10.14 No. 4481

## まともな業務遂行はどこへ

### 恒常的スト体制で運転保安と生命を守ろう

九月二日、房総半島に上陸した台風一七号は、千葉県内に大きな被害をもたらした。

二日は、千葉以東の列車は、午前中にばたばたと止まり始め、全面運休となった。

しかし、問題は、二日以降も引き続き発生したのである。

鋸山トンネルを始め、県内で土砂崩れが発生し、内房線は、九月三〇日まで、外房線は九月二五日までそれぞれが復旧まで日にちを費やした。

### どこの泊になるか分からない？

特に問題だったのは、千葉運転区において二三日以降の運転士の出勤点呼の際に、内房線関係の行路について、内房線が寸断されていることがハッキリしているにも関わらず、運転士には所定行路の内容で点呼を行い、「今日はどこまで運転できるか分からない。運転区間は、追って指示する。」泊についても所定の所へ泊は出来ない。追って指示する。「などという指示が平然と行われた。

内房線の寸断区間、運行計画予定は、ハッキリしている。にも関わらず、こうした加減な指示が横行していたのである。

### 睡眠時間も準備時間も削られる

また、千葉転では、睡眠時間がまともには取れない。準備時間も削られるという行路が指示される。

二七日の「一一四行路」は、別図のとおり、所定は二一五九M・二二：四七・木更津到着一入区。翌日明けは一一二三M出区一五：一四。木更津発の行路である。入区・出区にかかる準備時間を差し引くと睡眠時間は、実質四時間三〇分。

しかし、当局は、二一五九M

という行路も平然と指示された。

また、準備時間が足りないとい

われたのである。

二七日、木更津泊で翌日の明け、「一二六行路」が業務指示によって、千葉に上るスジが、回九一三八M五：四五・木更津発、浜金谷行きとなった。

の後に、回二一六三M一〇二一M・〇：四七木更津着一入区というスジを付けようと強制しようとした。しかも翌日明けは、一一二三M出区一五：一四。木更津発と変わらず、入区一入区

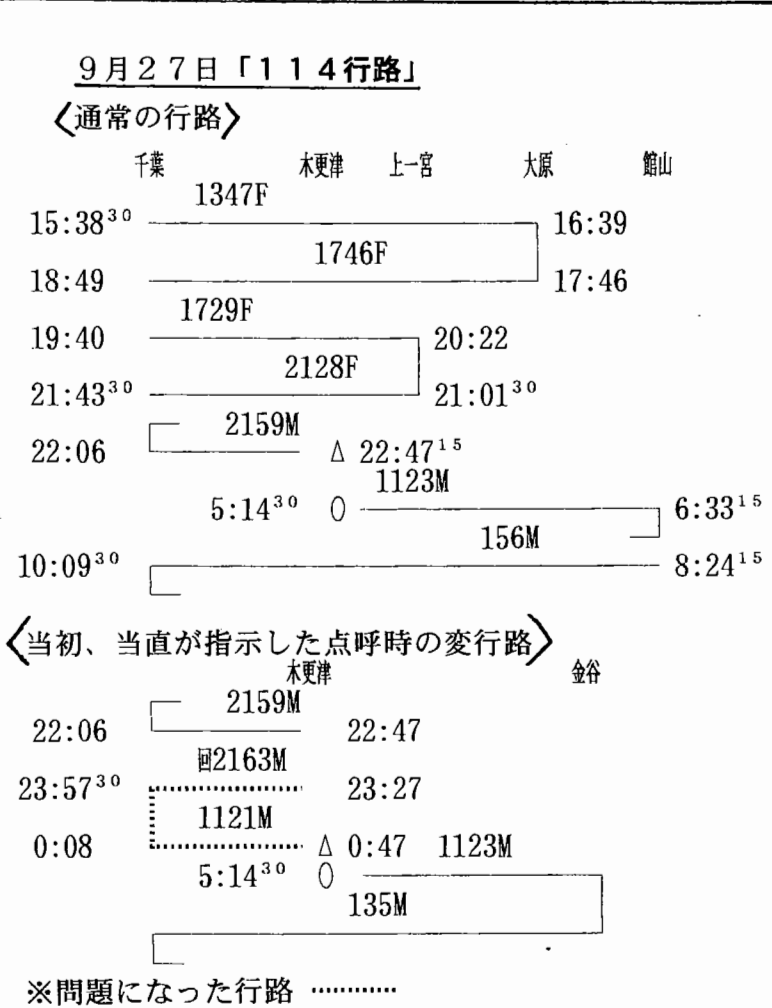
指示された内容は、起床四：四五、出区電車入換開始五：一〇である。少なくとも、起床から入換開始時間までに付加時間五分・出区準備時間三三分の四分が確保されなければならない。しかし、指示された時間は、入換開始まで二五分。

同じく同日、「一一八行路」一一四〇M・七：三二発のところで、回九九四二M・五：五五木更津発を指示される。この行路も起床四：五五、入換開始五：二〇と入換開始まで二五分という業務が押し付けられた。

このようなことが、平然と行われたのである。

### 臨要員のいない館山に四本の臨時行路

また、臨時要員のいない館山運転区に二五日以降、四本の臨時行路が設定された。この四本の臨時を回すためには、臨要員のいない館山では、休日勤務が前提とならなければ要員が回らない。五日間も休日勤務前提としたを押し付けてきたのである。



※問題になった行路 .....

台風後、一週間にわたりまもな業務を遂行することもできない千葉支社！ 不当な業務が指定されたら、支部・本部へ必ず連絡しよう！

## 11・10

全国労働者 総決起集会  
日比谷野音 12時から